

三笠製品

6月からアメリカ市場へ

三笠産業ニクス

発行所
東京都千代田区神田猿樂町1-7
三笠産業株式会社
電話 東京 (292) 1411 大代表

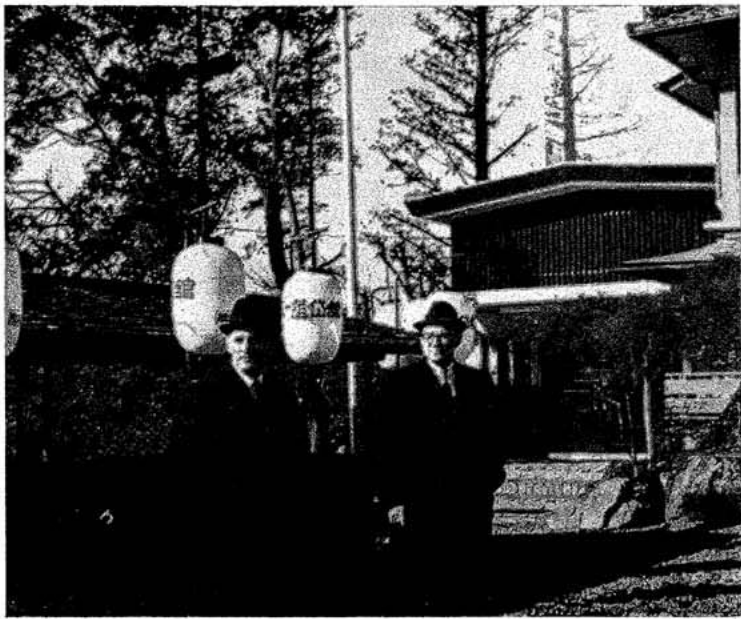
米国ブロー

ノックス社

ソロンバーク総支配人

再び来社

昨年七月販売責任者エッセル氏を伴って、来社され、当社と技術提携の契約を取り結んだ、ブローノックス社の総支配人ソロンバーク氏は、其後我が社より発送した、各種の見本機と製作図面に到着したので、早速アメリカ、カナダ、メキシコ各地の最先販売機関の代表者を召集して、これが実演会を開き其の批判を求めたところ、



足利モーター工場視察後、運俗館の夕食会に臨む向って
右ソロンバーク氏左アンダーソン氏

何れも大好評を博したので、愈々六月の新年度から、第一次製品として下記に掲げた三笠製品を、ブローノックス社に於て生産し、本格的に発売することに決定した。そこで、急拠それ等機械の部品手配のため、アンダーソン製造部長を伴い二月十一日夜半羽田着で来日、翌十二日十時から早やうも当社会議室に於て、我が社側から京谷専務と吉田常務、磯部設計主任、高野営業課員、住友商事から川本機械課長、大塚課員等を交えて審議に入った。

会議室のテの上には、うづ高く図面が積み重ねられ、細かい打合せが朝早くから夜遅くまで、休みなく続いた。仕舞にはテーブルの上が散らばれた図面で一杯になり、中には一機種三五〇台にも及ぶものなどあって、部品の数も夥しく、其の算出も又容易なことではない。それが終るか終らない内に早やうも、工場での現場打合せをするため連日、館林工場、春日部工場、足利モーター工場等を次々に廻られて、つづさに部品の加工状態を視察されたり、製品に就ての細かい操作上の説明を求められたりして、極めて多忙な幾日かが続いた。

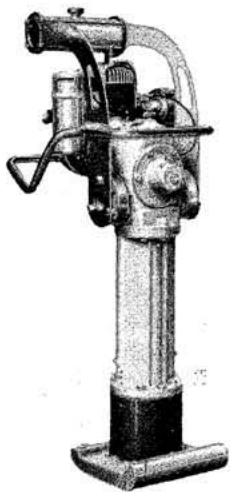
何分にも、日本とは比べものにならない、広いマーケットを持つアメリカで、六月からと云う差迫った、発売期日を決められ、どうしても、それに合わせなければならぬだけに、我が社としても仲々容易ならぬ仕事である。しかも時期的に内需もそろ／＼上向いて来た傾向でもあるので、それ等の点を予め考えて置かないと、今直ぐに先方の御要求を全面的に受入れることは出来ない、うっかり安請合いをして、後で御迷惑を、おかけする様なことがあつては大変だと云うことで、今回は七〇％程度の台数に止めて、次の分からは、御希望台数を纏めることに話し合いがついたので、早速其の段取をすることにした。

斯くして、慌ただし最終日の二十日午後八時から、中野の日本閣で、社長主催の歓迎レセプションとお別れパーティーとつづかぬ夕食会が催され、お互に肩の重荷を下ろし膝を交えて、和気藹々の裡に同社の親交は更に深められて行つた。席上ソロンバーク氏から次回は是非共京谷専務と吉田常務に訪米して欲しいと懇請され、七月のアメリカに於ける再会を約し、お互に国境を越えて心ゆくまで春の夜を楽しく語り合いながらいつまでも別れを惜しんだ。

翌二十一日両氏は、今回の日本訪問は、極めて、効果的でもスピーディーに終始した。これも偏に貴社の御協力によるものであると、ありつたばかりのお世辞を浴びせて羽田を立つて行かれた、我が社からは、令嬢道子さんを伴つた京谷専務と住友商事からは川本課長が見送った。

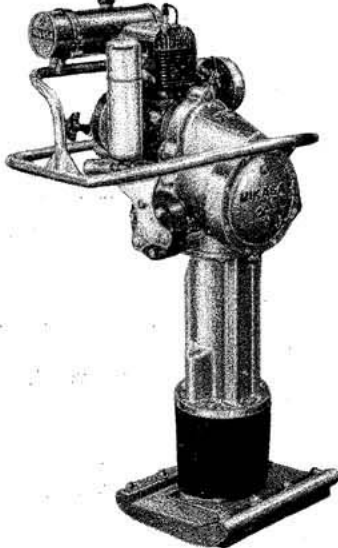
MTR-60型

タンピングランマー



MTR-120型

タンピングランマー



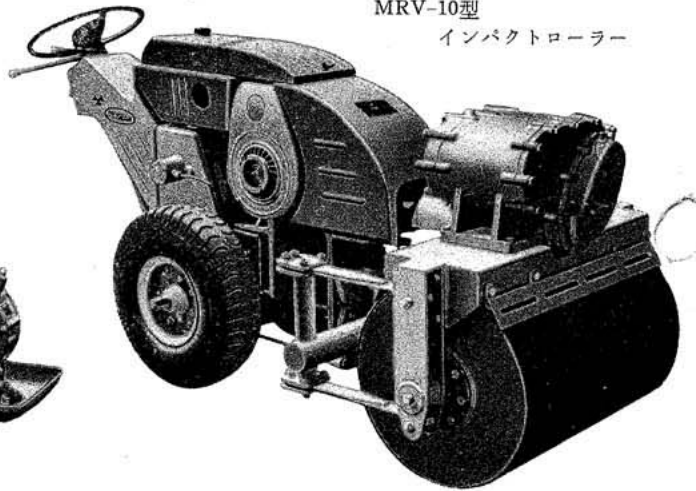
MVCP 型

斜面輾圧機



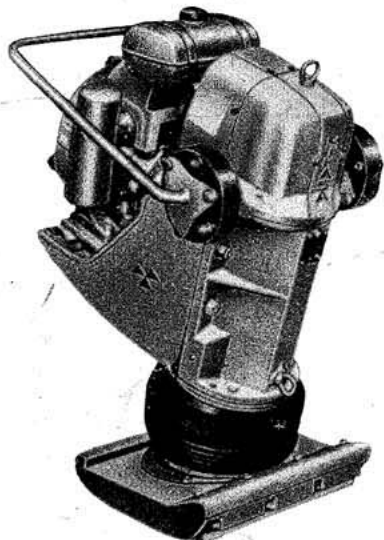
MRV-10型

インパクトローラー



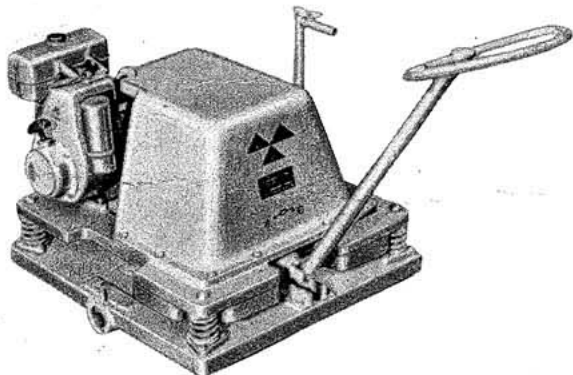
MTR-160型

タンピングランマー



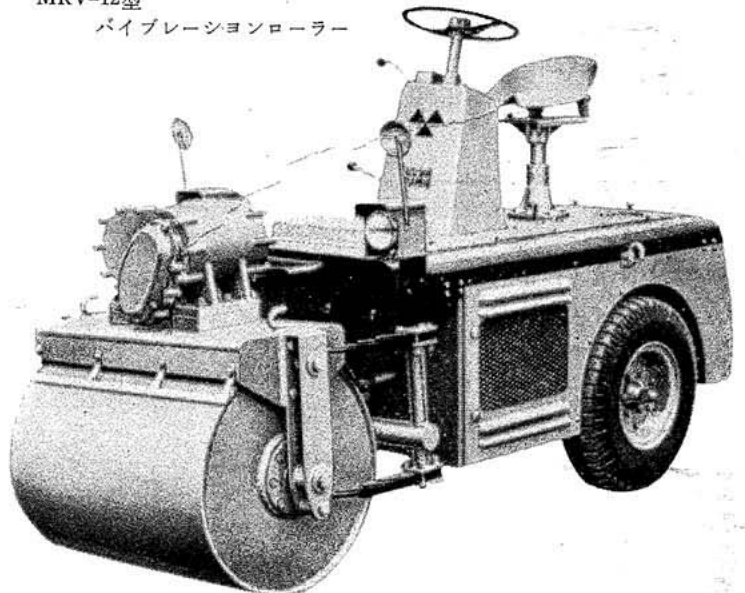
MVCS-4 型

パイプロコンパクター



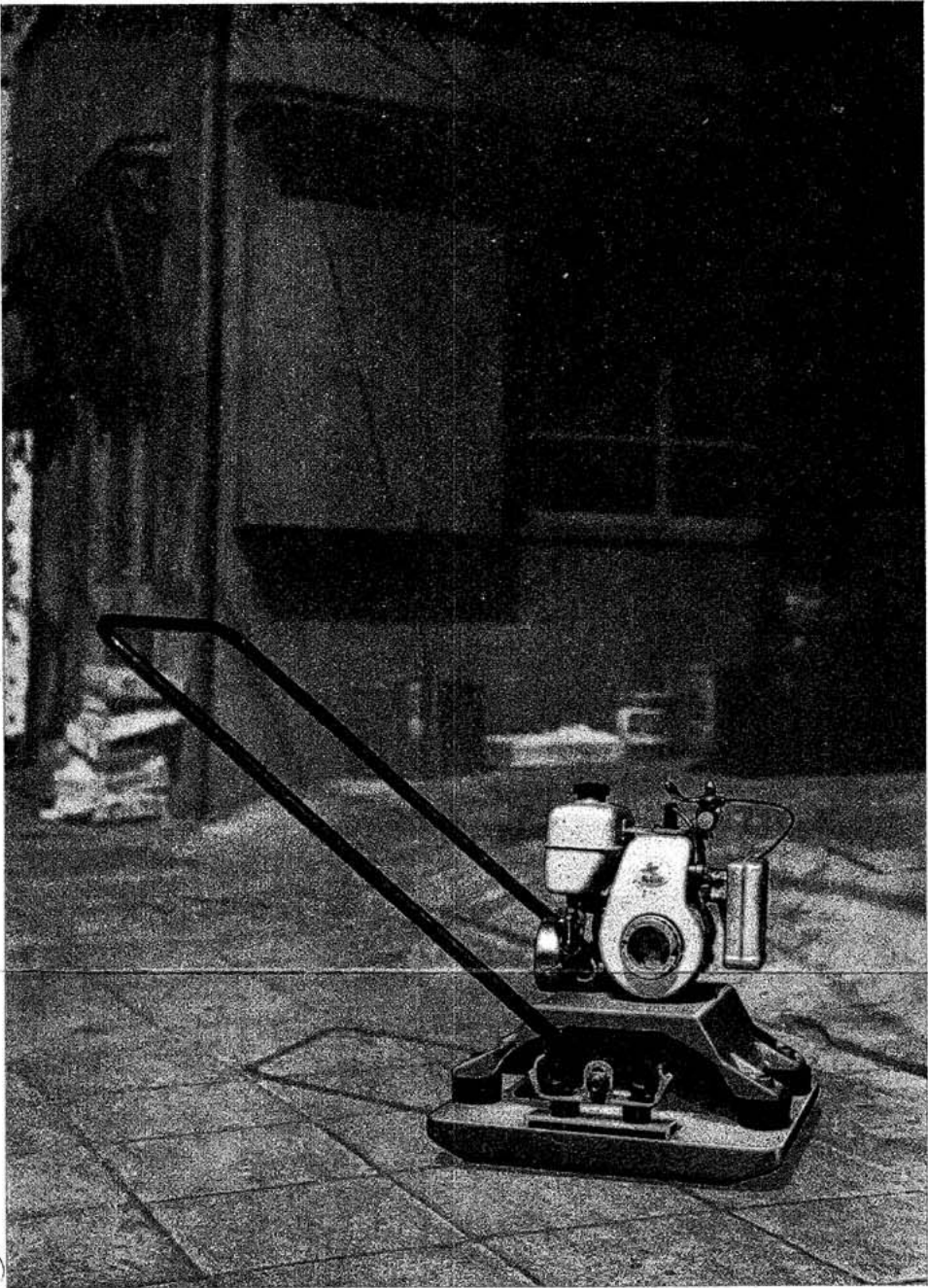
MRV-12型

パイプレーションローラー



新型バイブロコンパクター

MVCS-2型 完成



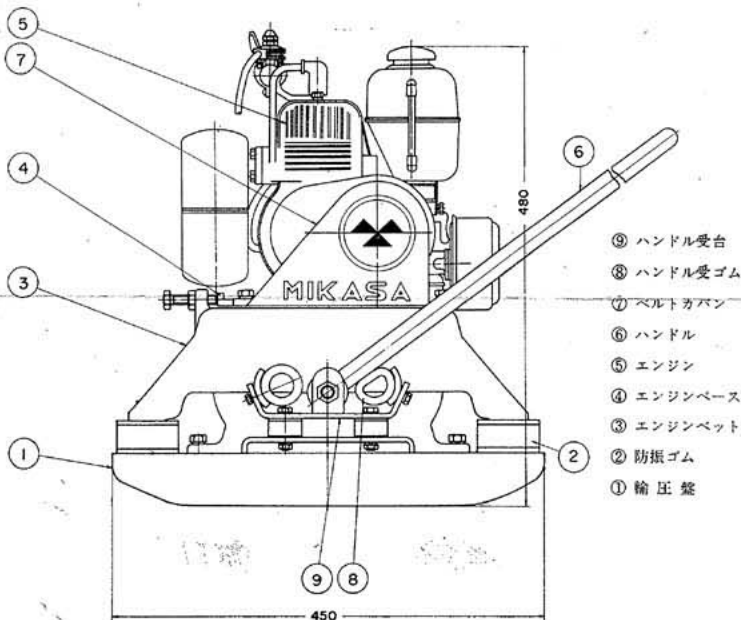
新型 MVCS-2 型バイブロコンパクター (小型)

第8号(前号)三笠産業ニュースの新型発表では、バイブロコンパクター、MVCS-4型(大型機)の内部構造と特長とを御説明申し上げました。其の際取りあえず写真を掲載して御覧に入れて置きました2型機を、今回、更に図面を添へて再掲載し、大方皆々様の御需めに応ずることに致しましたので、MVCS-2型(小型機)に就て改めて御説明申し上げます。

本機は大型バイブロコンパクターを小型化したもので、比較的狭い工事現場に於ける、アスファルト、コンクリート、砂、碎石等の締固めには最も効果的な振圧機です。

本機の各部は、小型軽量化に設計され自重は、僅か67kgにもかゝわらず起振力が大きく、高周波振動のため均一な振圧が得られ平坦路面は、勿論のこと法面の掘き固めにも使用出来る機構を内蔵して居ります。

其の主な構造と特長は、振動盤の上に上下振動を生ずる振動装置が取付けてあり、防振ゴムを介して、エンジンベツドが取付けられ、その上にエンジンが搭載されています。この動力源からVベルト伝導により振動装置に回転を与えて振動を生ぜしめ、且つ自走機能を發揮して振圧を行う構造になって居ます。又、ハンドルの取付けは、二重に防振し、作業者に本体の振動が伝わらず、快適な作業が出来るよう考慮してあります。



MVCS-2 型バイブロコンパクター総組立図

MVCS 型バイブロ、コンパクター仕様

型 式	振動盤の 大 き さ	機体の寸法	振 動 数	速 度 (毎分)	傾 斜 角 度	輾 圧 力	使用エンジン	エ ン ジ ン の 定 格 出 力	概 重 量	電 略
MVCS-4 (大型)	820×840 mm	長サ1,200mm 幅 820mm 高サ 800mm	1,000~1,600 v.p.m	前後進 5~10m 左右進 4~8 m	15 度	8 ~10屯	EC 61 E 富士重工製	4 P.S/1,600 r.p.m	600 kg	サ コ タ
MVCS-3 (中型)	550×600 mm	長サ1,200mm 高サ 635mm	1,000~2,000 v.p.m	前 進 5~10m	25 度	3 ~ 4屯	EC 53 E 富士重工製	3 P.S/1,600 r.p.m	120 kg	サ コ チ
MVCS-2 (小型)	450×480 mm	長サ1,200mm 高サ 480mm	1,000~1,500 v.p.m	前 進 4~8 m	35 度	1 ~ 2屯	KM 32 富士重工製	2 P.S/2,400 r.p.m	67 kg	サ コ ツ

△お知らせ

弊社のMRV12型バイブレーションローラーは昨年左記の通り運輸大臣より認定されていますからお知らせ致して置きます。

○運輸省告示 第二百三十九号

道路運送車両法施行規則(昭和二十六年運輸省令第七十四号)第六十二条の三第一項の規則により、昭和三十九年六月十六日、次の小型自動車型式について認定した。
昭和三十九年六月二十五日
運輸大臣 綾部健太郎

電話番号変更のお知らせ!!

駿河台電話局の開設に伴い、来る四月二十五日(日)午前零時から弊社の電話番号が左記のように変更されますので、甚だ御手数をおかけして恐縮ですが、其の節は御手許の御控へを御訂正下さるよう今より御願ひ申し上げます。

(二九二) 一四二一 大代表

○電話復活のお知らせ!!

館林工場へ太田の直通電話が開通したため、旧電話の内一八四一番は廃止となつてしまいましたが、此のほど再びその電話が復活開通しましたから現在の電話と共に御利用願ひします。

電話番号変更

交換業務の時間は、午前九時から午後五時五十分までです。此の範囲内の時間を過ぎますと交換業務は、中止されますので、左記の夜間直通を御利用願ひします。

総務課(二九二) 二五五 営業一課(二九二) 二四二
経理課(二九二) 二四四 営業二課(二九二) 二四三
資材課(二九二) 二四五 営業三課(二九二) 二四三
技術部(二九二) 二五五

復活電話

館林 1841
直通電話 02762(太田) 3886
普通電話 館林 221

三笠産業株式会社

東京都千代田区神田猿樂町一ノ七

代理店訪問記

(1)

○中道機械株式会社

本社 札幌市北一条東三丁目

北海道の三月はまだ雪の下である。とは言へ業界は既に春を待たず、激しい活動が開始されている。

私はい歩店內に足を踏み込んだ途端、今年一年の計を四月から約半年の間に建てなければならぬ北海道の背負わされている宿命的なハンディキャップ、だがこうしたことは何処の土地にも何らかの悪条件はある。要はその限られた時間、その空間の中で如何にして多く売り、そして多く利益を上げるか、勝負は決まるものだ。だが現在の経済環境はいかに厳しい、特に北海道は戦後樺太や千島を失ったから其の販路は著しく狭まってきた。しかし北海道の開拓事業は年々歳々増加の一途をたどり、これに伴い各種開発機械の需要も非常に活発になっていく、此処にいち早く目をつけたのが中道さんで、従来の商社会社の代行販売方式を取り入れて、あらゆる製品を在庫して即納販売方式を取り入れ、直接ユーザーに向ってアフターサービスを行い、道内主要都市に支店又は出張所を設置して、積極的なPRに努めた結果、中道機械の名前は、たちまちに道中道に轟き、今日の大中道の基礎を築くに至ったわけである。



中道機械(株)札幌本社店舗

こそ、昨年の不況を一番に打ち破ろうとして、激しい気迫に包まれてしまった。この気持は社長にお逢いして、本年度の営業方針としての堅実なる販売方法を取りながらも積極的な販路対策を進めて行こうと語られる静かな口調の中に秘められた強い御決意をおく。

○親和機械工業株式会社

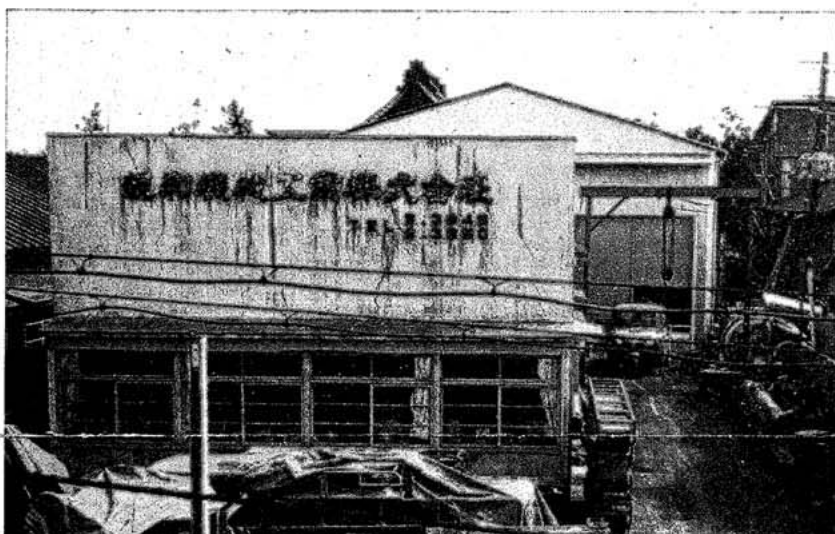
仙台市新寺小路六十番地二号

東北の首都仙台駅に着いたのは、春近しを思はせる三月初旬の早朝であった。みちのくの中心都市として発展を続ける仙台市は伊達公の昔にさかのぼること数百年、今も百万都市を目差し、その隆盛を極めて居

り、名城青葉城の眼下に広がるその雄大な都市は名実共に、東北随一の面目を保ち、風格は六大都市にも勝るとも劣らぬ、堂々たるものである。しかもその地にあって、我が社の代理店として活躍する親和機械工業株式会社

は、仙台駅の位置する市内東八番丁に昭和三十年設立され、我々とは古くからのお馴染みである。爾来十年、高木専務をはじめ、安藤常務以下社員一同の不断の御努力により、東北地方工事の機械化を計られ、ビル建築に河川、築港、築堤、道路等あらゆる工事の進歩発展に多大なる御貢献をされたのであった。又昭和三十六年には、現在の新寺小路に拡張移転すると共に、従来のサービス部門を強化充実した事により更に当地の建設業者から多大の好感を持って迎へられ、何時もユーザーの間になくてはならない存在として、重宝がられている。一見したところ、地味な様ではあるが、仲々芯がしっかりしていて、石橋式な堅実で根強さがあり、そうした真面目な皆さんの御態度には何時も敬服しているものである。これが会社の特色であり、今日の目ざましい発展をなし上げた大きな因であるともいえるのではないだろうか。

震災後約一年の歳月がたつてはいるのに、未だに市内の此処かしこに陥没した土地、傾いたビルなどが痛ましく目に映じて、悲惨な当時の生々しい思い出をよみがえさせるのは、何んとかならぬものかと思つたりした。復興工事も二年や三年では仲々進まないといえ、メインストリートは相変わらずの砂埃り、裏通りへ入ると悪路又悪路である。しかし本年度も五十億円の災害復旧予算が出てはいる。だから本格的な復旧工事はこれからと言ふところ、此の方面の業者は非常に活気づいているとのことであつた。遠藤専務にお目にかゝつて、高野、渡辺両課長から詳しく近況を伺ふ。



親和機械(株)店舗

○遠藤鋼機株式会社

新潟市下大川前通五ノ丁

日本通運が建設部を新設したので、当地の建設業界としては、何か別の意味での新しい競争が始まるのではないかと興味深々たるものがあるようである。

会社は震災で、大被害を受けたが、社長以下役員及び社員の不眠不休の御努力によつて見事再建され、既に工場は市内船江町へ三千坪の敷地を買収して、六百坪の近代設備を施した、モダンな鉄工所を新築され目下盛んに操業中であられる。全社では仙台に支店があり東京にも営業所を持つて居る。弊社は十数年来御最良をいたしている新潟地区の代表的代理店である。



遠藤鋼機(株)店舗

○鉄建工機株式会社

長岡市城内町二丁目七十五番地

『国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。』川端康成の名作『雪国』の書き出しの名文句が自然に浮んで来るほど清水トンネルを越すと、窓外の景色は一変し、あたり一面は白銀に塗り潰され、粉雪が窓を激しく打ち続ける。

長岡市に着いても雪は相変わらず降り続いている、だが豪雪地として名高い全市も数年前から設置された除雪装置の効果で、

れて全社員をリードして行かれるフアイトある行動力によつて、訪問する度に社業がぐんぐんと拡大発展してゆく状態をまざまざと見せつけられ、心強く感ずるものである。それだけに社長にお逢いして話合つて見ると常に販売に對して積極的な姿勢を持つて居られ、かつて、不況の中に在りて、兎角消極的な引込思案になり勝たぬ時にかゝわらず、毅然たる御態度で不況何物ぞ、今こそ吾々は敢然として闘うべき機会であるとして、一層細心なる注意と明確なる判断力によつて販売を推し進めて行くならば必ずや発展拡大の道ありと自信満々として居られたには、深く感動せられるものがあつた。ちなみに会社は市内の中心地にある事務所他、国道八号線添の約一千平方メートルの敷地内に、建坪三百三十平方メートルの立派な倉庫を有し、常時即納態勢を取り得る在庫を持つた上、更に数台のサービスカーによる機動力を充分に活用させて、販売にサービスに日夜健闘を続けて上越地区一帯の地盤をガッツリと握つて居られるので今後全社の活躍は大いに期待し得るものがある。と確信して居る。



鉄建工機(株)店舗

◇京谷社長宅
新年会の記◇

(一月三日葉山かきや亭にて)

思い切つて不景氣を追払つて、新しい三笠ムードをつくり上げようとする張り切りボーイの多い我が社では、輝やかしい昭和四十年を迎え、今年も又、全社員が葉山の社長宅に招かれて賑やかな祝賀の宴が張られた。



社長宅の庭の芝生に並んで

◇工業界賀詞交歓会◇

(一月八日、日刊工業新聞社ホールにて)

新年を迎えて、恒例の日刊工業新聞社主催の賀詞交歓会が、田中大蔵、桜内通産両相をはじめ、財、工業界から約五百名近くの出席者が集つて、午前十一時半からいとも賑やかに開催された。

昨年は金融引締めで、一部上場の大会社までが倒産すると云う大騒ぎを演じ、世は正に不況のどん底に落ち込んだかの様相を醸し、工業界も可成り大きなショックを受けていたが、田中蔵相の晴々とした見通しの明るいお話しに今年はお互に頑張つて好景氣のムードを造り出そうと、どこからともなく明るい陽射しがさしこんで来たかのよな氣持で、居並ぶ



会場に於ける賀詞交歓風景

◇本社初午祭

(二月九日本社屋上にて)

我が社恒例の豊川稲荷初午祭が、正午から本社屋上の稲荷社に主任以上が参列し、神田明神、加藤神官の司祭で、いとも厳肅に行われた。



本社屋上の豊川稲荷初午祭

◇松浦会の集い◇

二月十七日熱海八方苑にて

京谷社長のハルビン時代の友人(戦時中我が社の株主であつた方々も居られる)で結成されている。松浦洋行出身の松浦会(会長三陽商事(株)島田社長)が毎年各地で懇親会を開催して居られたが、本年は当時ハルビン切つての料亭「武蔵野」の支配人であつた、当方苑の主人公の御縁から、特に其の御厚意と幹事の

(松下記)

◇道友会総会開く◇

(三月十三日熱海富士屋ホテルにて)

中道機械産業(株)(本社、東京都新宿区角第一ノ八、社長中道喜安氏)の取引先在京メーカー三十四社で結成されている道友会、(会長 三笠産業(株) 京谷社長)では、恒例の懇親会を兼ねた総会を熱海温泉で催した。当日は絶好の春日和に恵まれ、一同打揃つて、東京駅から僅か一時間足らずの、新幹線の旅を味わつた。やがて日曜日を翌日に控えてこつた返す熱海の街を尻目にバスにゆられて富士屋ホテルに到着息つく暇もなく、会議室の総会会場に入った。

○当日の出席社名

岩手富士産業、王子重工、大場製作、加地鉄工、小林工作、三陽製作、三栄製作、新明和、新日本鍛工、多田野鉄工、ダイハツ工業、川崎航空、千代田コンベヤー、東京工業、東京加設、中道重工、南里機械、日本度量衡、日本製鋼、日平産業、日本開発、早川鉄工、浜ゴム、古河さく岩機、前川工業、三井精機、三笠産業、名興機械、明電社、森試験機、ヤンマーディーゼル、ヤマトボーリング、ラサ商事、渡辺機械

(敬称略)



京都清水寺の山門にて

◇笠友会春の旅◇

(三月二十七日京大和旅館にて)

産業新聞両社記者の紹介があり、来賓を代表してPR研究所兼田所所長の「私の見た中道社長と中道機械の現状と将来性」をとらえて、専門的な立場からこれを掘り下げ、あらゆる角度から分けて其の一二を克明に説明され聴取者に大きな感嘆を与えた、やがて全議事を滞りなく終了、中野企画部長の閉会の辞を以て午後五時総会を閉ざし、直ちに割



熱海富士屋ホテルにて

去年の総会で、来年は少し遠走りをしてはとの約束を果たすため、今年は一晩泊りで京都奈良の古都見物を選ぶことになった。折も折新幹線と云う超特急の乗物が僅か三時間半で東京と京都の間を運んで呉れるので、こうしたプランが生れたわけでもあろうか。

今年で我が三笠笠友会(下請の親睦団体、会長、桜電機加藤社長)は結成以来早くも八年目を迎えて、会員同士すっかりお馴染みになり、まるで修学旅行でもする様な和やかな気分、午前九時、森課長、松下係長、萩本主任等三笠社員多数が社旗をかまげて、見送る中を、総勢三十五名ひかり号に乗つて静かにホームをすべり出した。京都駅前には近鉄のバスが「笠友会」の名札を大きくフロントウインドに張り出して愛想よく吾々一行を迎えて呉れた。一行はこれより息つく暇もなく、三十三間堂、清水寺、平安神宮、金閣寺、大徳寺などを次々に見歩き夕刻東山の京大和旅館に入り一風呂浴びて午後六時半から懇親会を開いて京美人のお酌で大いにメロトルを上げた。

翌朝は八時朝食、九時半出発とあつて、朝寝坊組には少々つらそうだったが、それでも一名の落伍者もなく、定刻通り旅館を出発、二時間余の田舎道を奈良の法隆寺へと走り続けた。

結局法隆寺ですつかり時間をとられてしまつたので、奈良公園へ着いた時には、既に時間切れとなり、遂に欲ばつた、奈良見物は、此処までと幕となつた。

(当日の参加社) 桜電機、中央螺旋管、田摩フレックス、田沼製作、斎藤機械、鯨井精工、福岡製作、柿沼製作、富士機工、栄光商会、佐藤機械、日本トムソン、小林木工、富士重工、昭南発条、新日本鍛工、三洋機械、泉田工業、長瀬商店、金子製作、モリス工業、越田商工、鈴木製作、国光工業、中央機材、理研ダイヤ